

委託事業実施内容報告書
平成29年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(B)】

内容報告書

団体名：駒ヶ根市

1. 事業の概要

事業名称	駒ヶ根市日本語教育事業
事業の目的	市及び市民団体が運営している日本語教室・講座が協働・連携して、日本語を母語としない外国籍住民に対する効果的な日本語教育事業を展開する。また、関係団体が連携する仕組みが出来つつある現状を、更に強化・発展できる取り組みを通じて、日本人と外国籍住民とが円滑な市民生活を創出するための多文化共生のまちづくりを目指す。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	(地域の実情) 当市の外国籍住民の傾向は、少数多国籍(約30ヶ国)であり、若年層が減少し、40歳以上の割合が増加する高齢化の傾向を示している。また、短期在住者(3年未満)が一定数を保ちつつも、長期在住者(5年以上)が増えていることから、外国籍住民の定住化が進んでいる。 日本語に触れる期間が長い長期在住者が増えていることもあり、日本語の理解度は向上してきている。日本語初学者(日系人・技能実習生・外国籍配偶者の子弟など)が多数派であった時期に比べ、社会生活に必要な日本語をある程度身につけている長期在住者が増えている。前者は職場で必要な会話能力の向上、一定の会話力がある後者は、漢字・行政文書の「読む・書く」能力へのニーズが高い。そのため、日本語教室に求められる要素は多様になっている。 駒ヶ根市に今後も住み続けると考えている外国籍住民は増えているが、日本人と交流したいという前向きな考えは少なくなっている。長期在住者であっても、地域や職場以外の日本人との接点の少なさが推測される。製造業への派遣形態での就業が多く、不安定な雇用環境下にある外国籍住民は多い。「雇用対策の充実」、「企業誘致による地域産業活性化」といった項目が、外国籍住民にとっての課題度上位になっていることも、それを物語っている。外国籍住民は安価な労働力であり、グローバルな事業展開の戦力としての活用は進んでいない。 地域の保育施設へ通う就学前児童は増えている。しかし、「園に子どもがなじめない」・「仲間はずれ・いじめにあう」と答える保護者は増加しており、教育現場での多文化共生への取り組みは途上であることが伺える。 昨今の日本各地を襲った天災による危機意識の高まりからか、災害への備えを何かしらしている外国籍住民世帯は増加している。ただし、災害時の情報入手(避難所情報も含め)手段について不安を抱えている外国籍住民が多い。 当市には、市民団体が運営している「地球人ネットワークインこまがね」が主催する日本語教室がある。相手の日本語レベルと学習ニーズに合わせて対面方式で読み書きを教えていることから、初学者も参加しやすい。その運営には、在日年数が長い外国籍住民が多く関わっている。彼らを通じてこれまで地域社会に関わろうとしなかった人々の参加も増えてきている。相談・交流窓口としての役割が年々増してきている。 平成27・28年度に公民館で実施した取組を通じて、外国籍住民と日本人双方が交流している。同国人と職場の日本人とだけの交流から、新たに地域とつながる場所として機能しつつある。 (課題) 1. 「地球人」の受講者・指導ボランティアの増加により、各自の意思疎通、受講者の情報共有に苦心している。 2. 日本人が気軽に外国籍住民と交流できる場所が限られている。 3. 新たな指導ボランティアが外国籍住民との接し方、日本語教授法等を学ぶ体制の不備。 4. 上記課題の解決に総合的に関わられる地域在住のコーディネーターの不在。
本事業の対象とする空白地域の状況	
事業内容の概要	・取組1…ニュー・カマーと、定住化が進むオールド・カマー双方のニーズを満たす日本語教室を実施する。外国人が集まりやすく、地域と繋がる窓口の役割も担っていく。 ・取組2…外国籍住民が必要とする情報(社会福祉制度、防災情報等)を学ぶ場を設ける。彼らのニーズを満たすと同時に、非常時に頼りとなる組織や担当者との人脈形成を企図する。 ・取組3…地域社会との関わりが希薄になりがちな外国籍住民が、地域の文化や習慣を知り、日本人と自然に交流できる機会を提供する。その場を通じて、日本人も地域に暮らす外国籍住民への理解を進める嚆矢とする。 ・取組4…外国籍住民を支援するボランティアと組織の知見を増やす研修会を実施する。多文化共生の現状、外国籍住民を取り巻く環境や、市外の多文化共生を推進する組織の活動を学ぶ。それと並行して、日本語の学習進度が異なる受講者のニーズに対応するための日本語教授法、クラス運営方法についても学ぶ。 ・取組5…取組1から5に関わる外国籍住民とボランティアが、学習内容や気付きについて発表する機会を設ける。10月下旬に予定されている外国籍住民と日本人が多く参加する国際文化イベントで、多文化共生と日本語教育事業に目が向いていない外国籍住民や日本人に情報を周知して、彼らの関心を喚起する。
事業の実施期間	平成29年5月～平成30年3月 (11か月間)

2. 事業の実施体制

(1) 運営委員会

【運営委員】

1	有賀 秀樹	駒ヶ根協力隊を育てる会
2	春原 直美	佐久市市民活動サポートセンター
3	宮越 幸代	長野県看護大学
4	藤井 佳代	地球人ネットワークinこまがね
5	高森 アナ	地球人ネットワークinこまがね
6	伊藤 勝	地球人ネットワークinこまがね
7	古川 裕子	地域住民
8	石場 八重子	駒ヶ根市 外国人相談窓口
9	肥野 みさを	駒ヶ根市赤穂公民館
10		



【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成29年6月26日 (月) 10:00～12:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、宮越幸代、高森アナ、伊藤勝、藤井佳代、石場八重子、	1.委嘱状の交付 2.自己紹介 3.委員長の選出 4.事業概要説明 5.年度当初からの実施内容報告
2	平成29年12月18日 (月) 10:00～12:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、宮越幸代、高森アナ、伊藤勝、藤井佳代、石場八重子、肥野みさを	1.平成29年度日本語教室の状況について 2.市内の外国人の状況について 3.今後、取り組むべき課題について 4.来年度の運営について
3	平成30年3月12日 (月) 10:00～12:00	2時間	駒ヶ根市役所	有賀秀樹、春原直美、宮越幸代、伊藤勝、石場八重子、古川裕子、肥野みさを	1.平成29年度日本語教育事業実績について 2.平成30年度日本語教育事業計画について 3.意見交換

(2) 地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	・駒ヶ根市企画振興課(関係団体との連絡・調整、ボランティア研修開催、募集広報) ・赤穂公民館(日本語講座の実施、外国籍住民と地域の日本人との結節点) ・地球人ネットワークinこまがね(日本語習得の取り組み) ・長野県看護大学(学生の日本語教室での実習) ・駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(本事業への提言、各種取り組みへの参加)
------	---

(3) 中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	【コーディネーター】 本事業を真に多文化共生に寄与するものとすべく、市役所だけではなく関係省庁・民間団体などの協力を仰ぎ、外国籍住民のニーズを汲み取る。また、市内の関係各所との連絡を密にとり、本事業に関わるボランティア・組織の活動が活性化することを念頭に業務にあたる。 【指導者・講師の窓口・取りまとめ】 取組1と2の企画・実施にあたって、コーディネーターと特に密に連絡と調整を担当する。情報共有及び、外国籍住民のニーズの把握などの役割も担う。 【事業担当者】 それぞれの取組の企画・実施をしていく。コーディネーターと密に連絡と調整を行う。
----------	---

3. 各取組の報告

＜取組1＞																	
取組1	取組の名称		「地球人ネットワークインこまがね」による日本語指導														
	取組の目標		【オールドカマーとニューカマー双方に対応した日本語指導】 ・会話に不自由はしないが、読み書きに難があるオールドカマーのための指導を行うことで、自立的な生活に必要な日本語習得を目指す。 ・日本語の勉強を始めて日が浅いニューカマーでも学びやすい初学者向けの指導を行い、基礎的な日本語力の習得を目指す。														
	取組の内容		【参加者の語学力とニーズに応じた日本語指導】 ・レベル分けは、当日の参加者の顔ぶれで判断する。 ・参加者のニーズになるべく合わせた教材を使用する。受講者の学習ニーズは年々多様化しているので、教案の蓄積と指導ボランティア間での情報共有を密に行う。														
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動															
	取組による体制整備		・市主体の体制ではなく、ボランティアが主体となって教室運営にあたる。組織運営をより高度なものにしていく。 ・市は取組1の活動を活性化できるよう、会場・託児の手配などの後方支援に徹する。 ・他地域の多文化共生推進に取り組む組織との連携を図れるように、面識・人脈を得る機会を設定する。														
	取組による日本語能力の向上		・日本語学習歴の浅いニューカマーは、まず対面式で日本人と学習することで実際の日本語に慣れ、その後の学習や職場でのコミュニケーションが円滑になることが期待できる。 ・永住者や日本人の配偶者等の一定の日本語力のあるオールドカマーは、会話よりも読み書き中心に学び、生活に必要な文書類(行政文書・学校からの便り)への理解が深まることが期待できる。 ・地域の外国人が地球人ネットワークインこまがねの運営に参画していくため、それぞれの出身国のコミュニティの方々の拠り所としても機能しはじめている。そのため、日本語の文法知識だけではなく、日本語での地域・生活情報を学ぶことも期待できる。														
	参加対象者		・駒ヶ根市及び近隣に在住在勤の外国籍住民 ・「地球人ネットワークinこまがね」所属のボランティア				参加者数 (内 外国人数)		89人 (60人)								
	広報及び募集方法		・市のウェブサイト、市報、チラシ、広域情報誌の掲載、企業及び不動産会社への呼びかけ。 ・「地球人ネットワークinこまがね」によるSNSとウェブサイトを通じた情報発信を行う。 ・各国コミュニティの顔役の人物を通じて情報を発信してもらう。														
	開催時間数		総時間189時間(空白地域 時間)														
	主な連携・協働先		・駒ヶ根市企画振興課(「地球人ネットワークinこまがね」との連携調整、募集広報) ・長野県看護大学(多文化共生看護学履修の学生の参加)														
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国		ベトナム		ネパール		韓国		フィリピン		インドネシア		タイ		ブラジル	
		5		24		0		0		6		7		5		7	
		カンボジア(1)、アメリカ(1)、ペルー(4)															
実施内容																	
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容				指導者名		補助者名					
1	平成29年4月4日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティアセンター	1	日本語学習について	自己紹介、今年度の予定の確認 日常会話の基礎				伊藤勝							
2	平成29年4月5日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティアセンター	3	日本語学習について	自己紹介、今年度の予定の確認 N3レベルの学習				藤井佳代							
3	平成29年4月8日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティアセンター	3	日本語学習について	自己紹介、今年度の予定の確認 日常会話の基礎				櫻井庸一							
4	平成29年4月11日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティアセンター	1	日本語学習について	日常会話の基礎				伊藤勝							
5	平成29年4月12日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティアセンター	3	日本語学習について	N3レベルの学習				藤井佳代							
6	平成29年4月15日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティアセンター	7	日常会話	日常会話の基礎				櫻井庸一							
7	平成29年4月18日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティアセンター	2	日常会話	日常会話の基礎				伊藤勝							
8	平成29年4月19日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティアセンター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習				藤井佳代							
9	平成29年4月22日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティアセンター	7	日常会話	日常会話の基礎				櫻井庸一							
10	平成29年4月25日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティアセンター	2	日常会話	日常会話の基礎				伊藤勝							

11	平成29年4月26日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
12	平成29年5月9日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話	日常会話	藤井佳代	
13	平成29年5月10日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	藤井佳代	
14	平成29年5月13日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	4	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
15	平成29年5月16日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話	日常会話	伊藤勝	
16	平成29年5月17日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	藤井佳代	
17	平成29年5月20日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	7	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
18	平成29年5月23日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話	日常会話	伊藤勝	
19	平成29年5月24日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	杉浦真	
20	平成29年5月27日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
21	平成29年5月30日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話	日常会話	伊藤勝	
22	平成29年5月31日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
23	平成29年6月3日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	10	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
24	平成29年6月6日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話	日常会話	伊藤勝	
25	平成29年6月7日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
26	平成29年6月10日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	8	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
27	平成29年6月13日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話	日常会話	藤井佳代	
28	平成29年6月14日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	6	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
29	平成29年6月17日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	6	日常会話	日常会話	櫻井庸一	
30	平成29年6月20日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
31	平成29年6月21日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	8	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
32	平成29年6月24日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	6	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
33	平成29年6月27日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
34	平成29年6月28日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	9	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
35	平成29年7月1日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
36	平成29年7月4日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
37	平成29年7月5日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	10	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	

38	平成29年7月8日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	7	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
39	平成29年7月11日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
40	平成29年7月12日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	1	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
41	平成29年7月15日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
42	平成29年7月18日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
43	平成29年7月19日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	12	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
44	平成29年7月22日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
45	平成29年8月19日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	7	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
46	平成29年8月22日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
47	平成29年8月23日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	7	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
48	平成29年8月26日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
49	平成29年8月29日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
50	平成29年8月30日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	7	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
51	平成29年9月2日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	10	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
52	平成29年9月5日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
53	平成29年9月6日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	15	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
54	平成29年9月9日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	8	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
55	平成29年9月12日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
56	平成29年9月13日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	12	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
57	平成29年9月16日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	6	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
58	平成29年9月19日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
59	平成29年9月20日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	1	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
60	平成29年9月23日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	9	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
61	平成29年9月26日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
62	平成29年9月27日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	5	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
63	平成29年9月30日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	11	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
64	平成29年10月3日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	5	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	藤井佳代	

65	平成29年10月4日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	6	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	伊藤勝	
66	平成29年10月7日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	7	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
67	平成29年10月10日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	藤井佳代	
68	平成29年10月11日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	伊藤勝	
69	平成29年10月14日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	12	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
70	平成29年10月17日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	3	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	牧野愛	
71	平成29年10月18日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	2	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	伊藤勝	
72	平成29年10月21日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	9	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
73	平成29年10月24日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	藤井佳代	
74	平成29年10月25日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	杉浦真	
75	平成29年10月28日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	7	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
76	平成29年10月31日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
77	平成29年11月1日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
78	平成29年11月4日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	6	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
79	平成29年11月7日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	牧野愛	
80	平成29年11月8日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
81	平成29年11月11日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	9	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
82	平成29年11月14日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
83	平成29年11月15日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
84	平成29年11月18日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
85	平成29年11月21日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
86	平成29年11月22日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	2	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
87	平成29年11月25日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	10	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
88	平成29年11月28日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	牧野愛	
89	平成29年11月29日 (水) 19:00～20:30	1.5	ボランティア センター	6	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
90	平成29年12月2日 (土) 10:00～11:30	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
91	平成29年12月5日 (火) 13:30～15:00	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	

92	平成29年12月6日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	8	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
93	平成29年12月9日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
94	平成29年12月12日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
95	平成29年12月13日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
96	平成29年12月16日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	7	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
97	平成30年1月9日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	牧野愛	
98	平成30年1月10日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
99	平成30年1月13日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	4	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
100	平成30年1月16日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
101	平成30年1月17日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	3	N3レベルの学習	N3レベルの学習	櫻井庸一	
102	平成30年1月20日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	9	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
103	平成30年1月23日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
104	平成30年1月24日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	1	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
105	平成30年1月27日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	牧野愛	
106	平成30年1月30日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
107	平成30年1月31日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
108	平成30年2月3日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	7	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
109	平成30年2月6日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	1	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
110	平成30年2月7日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	7	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
111	平成30年2月10日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	5	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
112	平成30年2月13日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
113	平成30年2月14日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	5	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
114	平成30年2月17日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	8	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	
115	平成30年2月20日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	3	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
116	平成30年2月21日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	8	N3レベルの学習	N3レベルの学習	伊藤勝	
117	平成30年2月24日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	9	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
118	平成30年2月27日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	3	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	藤井佳代	

119	平成30年2月28日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	8	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	伊藤勝	
120	平成30年3月3日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	10	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
121	平成30年3月6日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	3	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	藤井佳代	
122	平成30年3月7日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	4	N3レベルの学習	N3レベルの学習、発表会に向けての スピーチの準備	伊藤勝	
123	平成30年3月10日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	5	日本語スピーチ	発表会に向けてのスピーチの準備	櫻井庸一	
124	平成30年3月13日 (火) 13:30~15:00	1.5	ボランティア センター	2	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	藤井佳代	
125	平成30年3月14日 (水) 19:00~20:30	1.5	ボランティア センター	8	N3レベルの学習	N3レベルの学習	福澤友美	
126	平成30年3月17日 (土) 10:00~11:30	1.5	ボランティア センター	9	日常会話、読み書き	日常会話、読み書きの基礎	櫻井庸一	

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第83回平成29年11月15日】

市民ボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」による、外国籍住民に対する日本語教育活動。毎週火曜日13:30～15:00、水曜日19:00～20:30、土曜日10:00～11:30に実施。日常会話から簡単な読み書きまで、個々のレベルに合わせてマンツーマン指導を行った。受講者は団体の年会費として500円を負担。ボランティア指導員を増やすために、日本語教育終了後に、学習者による英語やスペイン語の講座を開設し、ボランティアにとっても有益な機会とするなどの工夫をした。



○取組事例②

【第111回平成30年2月10日】

市民ボランティア団体「地球人ネットワークinこまがね」による、外国籍住民に対する日本語教育活動。毎週火曜日13:30～15:00、水曜日19:00～20:30、土曜日10:00～11:30に実施。日常会話から簡単な読み書きまで、個々のレベルに合わせてマンツーマン指導を行った。受講者は団体の年会費として500円を負担。ボランティア指導員を増やすために、日本語教育終了後に、学習者による英語やスペイン語の講座を開設し、ボランティアにとっても有益な機会とするなどの工夫をした。



(2) 目標の達成状況・成果

文化庁からのアンケート調査を学習者に対して行った結果、すべての回答者が「上手になったと思う」、「まあまあ上手になったと思う」と回答しており、学習者の日本語習得については本事業の成果が表れている。また、基本的にはマンツーマン指導であることから、個々のレベルに応じた指導ができ、指導者と学習者との親密な人間関係を構築することで学習を続けやすい環境づくりができた。学習の場以外での交流も生まれ、多文化共生社会の推進につながった。

(3) 今後の改善点について

外国籍住民の増加と積極的な広報により、学習者が増加している。日によっては教室スペースが足りないことがあり、会場について課題が残る。より広い会場での実施も考えられるが、「地球人ネットワークinこまがね」のボランティアにとっては現在の会場は使い慣れた教室であることから、今後協議が必要。また、ボランティアの数が不足する日もあり、マンツーマンでの個々のレベルに対応した指導ができないことから、引き続き、ボランティアの確保が課題。

<取組2>									
取組2	取組の名称		駒ヶ根市の生活情報学習教室						
	取組の目標		・外国籍住民からのニーズに沿った生活情報を学ぶ場を企画する。 ・学習の機会を通じて、いざという時に頼れる地域住民との交流を図る。						
	取組の内容		・地球人ネットワークインこまがねには、駒ヶ根市内外に暮らす外国籍住民が集まり、日本語学習だけでなく生活に必要な情報等も日本人ボランティアから学んでいる。そこで、彼らのニーズをくみ取り、外国籍住民に必要な生活情報について情報を得られるよう、専門家や通訳を交えた学習の場を設ける。これにより、今まで教室に來なかつた外国籍住民層を掘り起こし、そのニーズを把握すると共に、日本語学習に繋げる。 ・生活情報については、地域住民がより分かりやすくサポートできると考えられることから、住民同士が共通の生活情報について学ぶという場を意識して企画・実施する。 ・地域に暮らす外国籍住民の抱える不安やニーズを日本語指導ボランティアも理解することで、より受講者に寄り添った日本語指導・情報交換を促す。						
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動							
	取組による体制整備		・外国人のニーズに応えられる適切な専門家との連携。 例：行政に関することは市役所担当課職員、在留資格・職場の悩みなどは行政書士、社会保険労務士 ・専門家の説明が誤解なく伝わり、必要な質疑応答ができるように各言語の通訳・翻訳者とも連携する。 ・生活情報を分かりやすく住民同士で教えあい、助け合う上で、必要となる情報源を把握し、準備する。						
	取組による日本語能力の向上		・オールドカマー、ニューカマー共に必要な社会保障などの情報や地域の生活情報を理解することで、生活の質の向上、地域社会への順応が期待できる。 ・外国人に参加するメリットを提示することで、今まで地域活動等へ参加をためらって外国人が外に出る契機になることを期待する。 ・地域住民である講師やボランティアが、外国人の抱える悩みやニーズをより肌を感じることで、日本に暮らす外国人への理解が深まる。						
	参加対象者		・駒ヶ根市及び近隣に在住在勤の外国籍住民 ・「地球人」所属のボランティア ・地域の専門家（行政職員、行政書士、社会保険労務士等）				参加者数 （内 外国人数）	11人 （ 9人）	
	広報及び募集方法		・市のウェブサイト、市報、チラシ、広域情報誌の掲載、企業及び不動産会社への呼びかけ。 ・「地球人ネットワークinこまがね」によるSNSとウェブサイトを通じた情報発信を行う。 ・各国コミュニティの顔役の人物を通じて情報を発信してもらう。						
	開催時間数		総時間 3時間（空白地域 時間）						
	主な連携・協働先		・駒ヶ根市企画振興課（「地球人ネットワークインこまがね」との連携調整、募集広報） ・税理士事務所						
参加者の出身・国別内訳（人数）		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
			3					1	2
ペルー（1）									
実施内容									
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名
1	平成29年9月10日 （日） 14:00～17:00	3	ボランティアセンター	9	税金講座	給与明細を持参し、各項目について税理士から日本語で説明を受けた。		唐澤孝好税理士事務所 本田税理士 坂井職員	福澤 友美
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年9月10日】

税金講座「給料明細を読もう」

地域の税理士を講師に、給料明細のフォーマットを用いて、各項目について説明を行った。また、受講者自身の給料明細を持参し、健康保険や国民年金などの社会保障制度について理解を深めた。



○取組事例②

(2) 目標の達成状況・成果

生活に直結するテーマであり、また、自らの給与明細を用いたことから、当事者意識を持ちながら受講することができ、受講者から評判も良く、来年度も同じテーマで開催してほしい旨の要望があった。給与から天引きされる健康保険や年金など、日本の社会保障制度についての理解も深まった。

(3) 今後の改善点について

受講者にとっては非常に有益な講座であるが、一回のみの開催であったため、来年度以降は違う曜日で複数回企画し、参加者数を増やしたい。

＜取組3＞										
取組3	取組の名称		公民館で地域住民と学ぶ日本語教室の実施							
	取組の目標		・多様な地域住民が集まる赤穂公民館を会場にすることで、地域住民とのコミュニケーションを図る。また、地域住民との交流を通じて、日常の日本語会話力を高める。 ・オールドカマー・ニューカマー問わず、彼らの関心が高い日本文化などをテーマとすることで、日常生活以外の多彩な日本語に触れる機会とする。							
	取組の内容		【外国人の関心が高いイベントを通じて日本語を学ぶ】 ・事業開始にあたって外国人と公民館担当者がワークショップを行ない、取り上げるテーマを選定する。 ・テーマを学ぶ際に必要となる基礎知識は、講師の作成した資料で予習と復習を行う。 ・テーマの講師は、地域の専門家を招聘して実体験を交えた指導を実施してもらう。							
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動								
	取組による体制整備		・28年度に続いて地域住民が集う赤穂公民館で実施する。外国人が日々の生活の中で困ったこと等を公民館に集まる日本人に相談できる、日本人が繋がる拠り所になることを期待する。 ・主に公民館の講座や教室で指導されている地域講師の方々に活躍してもらい、連携していく。 ・28年度は、ネパール人研修生と公民館家庭部と小中学生と一緒に料理教室と母子保健について学ぶ等の企画が実施できた。 ・29年度は、本取組を分館活動と捉え、公民館所属の婦人会や青年教室との広範な関わりを目指す。							
	取組による日本語能力の向上		・受講者の関心の高い内容にすることで、興味を持ってもらい学習意欲を引き出すことが期待される。 ・地域住民との日本語での情報交換の機会が増えることにより、会話力の向上も期待される。							
	参加対象者		・駒ヶ根市及び近隣に在住在勤の外国籍住民 ・公民館職員、各種講座の講師、地域住民など				参加者数 (内 外国人数)	35人 (17人)		
	広報及び募集方法		・市のウェブサイト、市報、チラシ、広域情報誌の掲載、企業及び不動産会社への呼びかけ。 ・「地球人ネットワークinこまがね」によるSNSとウェブサイトを通じた情報発信を行う。 ・各国コミュニティの顔役の人物を通じて情報を発信してもらう。							
	開催時間数		総時間 12時間(空白地域 時間)							
	主な連携・協働先		・駒ヶ根市企画振興課(募集広報) ・赤穂公民館(公民館講座の講師や専門家の講演依頼、受講者発信のイベント企画) ・長野県看護大学(多文化共生看護学履修の学生の参加)							
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル	
		5	0	0	0	2	4	1	3	
		ペルー(1)、ロシア(1)								
実施内容										
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名	
1	平成29年6月17日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	4	地域の草木について	森と水のアウトドア体験広場にて、地域住民講師が日本の草木について学んだ		肥野 みさを	塩澤真洋	
2	平成29年7月15日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	3	和食のダシの取り方	赤穂公民館調理実習室にて地域住民講師から和食のダシの取り方を学んだ。		肥野 みさを	塩澤真洋	
3	平成29年8月19日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	4	本場・中国のギョーザ作り	地域に住む中国籍住民からギョーザの作り方を学んだ。長野県看護大学生も参加した。		市川 舞	塩澤真洋	
4	平成29年9月30日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	6	日本の伝統的なお菓子作り	地域住民講師から、昔の日本で食べられていた素朴なお菓子の作り方を学んだ。長野県看護大学生も参加した。		丸山 優花	塩澤真洋	
5	平成29年10月21日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	3	間違いやすい日本語、ハロウィンパーティー	ハロウィンパーティーを通じて日本語で交流を図った。長野県看護大学生も参加した。		大森 旺羽	塩澤真洋	
6										

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第3回 平成29年8月19日】

中国国籍の住民に講師を務めていただき、地域住民と外国籍住民と一緒に餃子の作り方を日本語で習った。一緒に料理をすることで自然な形で関りができた。



○取組事例②

【第4回 平成29年9月30日】

長野県看護大学の学生に講師を務めていただき、地域住民と外国籍住民と一緒に日本のお菓子作りを習った。外国籍の参加者にとっては、初めて扱う食材(黒蜜やきな粉)があり、日本の食文化を体験できた。



(2) 目標の達成状況・成果

運営に協力した長野県看護大学生のアンケートからは外国籍住民と交流できる貴重な機会であり、外国籍住民とのコミュニケーションの心構えなど非常に勉強になったとの回答を得た。また、外国籍住民からは公民館は他施設以上に敷居が低く、事業に参加しやすいという意見があった。各回ごと決められたテーマがあることで、自然な形で地域住民との交流ができ、また、普段の生活では触れることのできない日本語にも触れることができた。参加した日本人と外国籍住民がお互いに顔見知りとなり、相互理解が進むことで日常生活を安心して過ごせるようになったという意見もあった。

(3) 今後の改善点について

公共交通機関が少ない地域であることから、自家用車を持たない外国籍住民は降雪時の移動が困難であり、冬期の開催を避けた。そのことにより、せっかくできた地域住民とのつながりが、交流機会の間隔があくことで希薄になってしまう可能性がある。冬期にも交流の場を持てるように開催方法について検討する。

＜取組4＞

取組4	取組の名称		日本語教育ボランティア人材・組織の育成									
	取組の目標		・駒ヶ根市外の地域で活動している諸団体、コーディネーターの方々に外国人を取り巻く環境や取組を紹介してもらう。 研修を通じて、ボランティア個人のみならず、ボランティア組織の運営方法についても知見を深める。 ・既存、新規の日本語指導ボランティア双方が学べる日本語教授法の学習機会を提供する。 ・通年で定期的に開催し、日本語指導時にボランティアが抱えた疑問や悩みの相談の場とする。 ・既存のボランティアのレベルが上がることで、新規ボランティアへのより良い波及効果も狙う。									
	取組の内容		・外国籍住民を取り巻く環境、彼らとの関わり方、多文化共生のあり方を学ぶ。(講師：堀 日本語ボランティアの始め方、多文化共生の在り方について) ・ボランティアの意識の在り方、ボランティア組織の運営手法を他事例などを基に学ぶ。 また、ボランティア組織運営上の課題などについて説明してもらい、意見交換を行う。日本語指導ボランティアとしてのあり方、外国籍住民との関わり方を学ぶと同時に、他組織の運営方法などへの理解も深め、個人・組織の活動充実に繋げていく。(講師：春原 活発な日本語教育団体の優良な取り組みと事例の紹介) ・日本語の基礎的な教授法について学ぶ。(講師：関井 日本語指導方法 米勢 やさしい日本語) ・教授法の知識のみではなく、日本語教室のファシリテーション、受講者との接し方などについて、模擬授業等を通じて習得する。(講師：関井 日本語指導方法)									
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
	取組による体制整備		・駒ヶ根市企画振興課で研修講師、会場の手配を行う。 ・「地球人ネットワークinこまがね」の抱える組織運営の課題や現状を聞き取り、彼らの活動を充実できるような内容に研修内容をアレンジしていく。 ・今までに複数回研修を受け持った講師とボランティア組織、個人間で自主的な情報交換が始まっている。これを更に枝葉を広げて、互助のコミュニケーションの形成を促していく。 ・研修参加者が、「地球人ネットワークinこまがね」の日本語教室を実践の場として活用できるように、「地球人ネットワークinこまがね」関係者と繋がる場としても機能させる。									
	取組による日本語能力の向上		・市民ボランティアの指導力向上により、外国籍住民の日本語学習機会の拡大を見込む。 ・指導力が向上することで、日本語学習者の満足度を高める。受講者の出席率向上や新規学習者開拓へと繋げる。									
	参加対象者		市内及び近隣市町村ボランティア				参加者数 (内 外国人数)		31人 (4人)			
	広報及び募集方法		・市のウェブサイト、市報、チラシ、広域情報誌の掲載。 ・「地球人ネットワークinこまがね」によるSNSとウェブサイトを通じた情報発信を行う。									
	開催時間数		総時間25時間(空白地域 時間)									
	主な連携・協働先		・講師所属団体 ・「地球人ネットワークインこまがね」									
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル			
											3	
		ペルー(1)										
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容		指導者名	補助者名			
1	平成29年6月17日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	7	日本語指導の始め方	日本語教育ボランティアとは 日本語教育の心得		関井 朱美	矢澤国明			
2	平成29年7月1日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	26	日本語教育概論	日本語教室の役割と機能 外国籍住民の人権		堀 永乃	矢澤国明			
3	平成29年8月5日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	12	日本語教育指導方法の習得①	共に学ぶための基礎知識 文法		関井 朱美	矢澤国明			
4	平成29年8月26日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	10	日本語教育指導方法の習得②	共に学ぶための基礎知識2 文法		関井 朱美	矢澤国明			
5	平成29年10月14日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	6	日本語教育指導方法の習得③	共に学ぶための基礎知識3 文法		関井 朱美	矢澤国明			
6	平成29年11月18日 (土) 13:30～15:30	2	赤穂公民館	13	やさしい日本語	やさしい日本語とは やさしい日本語に変換するときのポイント		米勢 治子	矢澤国明			
7	平成29年12月9日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	11	日本語教育指導方法の習得④	共に学ぶための基礎知識4 文法		関井 朱美	矢澤国明			
8	平成30年1月6日 (土) 13:30～16:30	3	赤穂公民館	9	日本語教育指導方法の習得⑤	共に学ぶための基礎知識5 文法		関井 朱美	矢澤国明			
9	平成30年2月3日 (土) 13:30～15:00	2	赤穂公民館	10	差別のない多文化共生の実現に向けて	全国、県内、市内の外国籍住民の状況 外国籍住民が感じる壁とは		春原 直美	矢澤国明			

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第2回 平成29年7月1日】

グローバル人材サポート浜松代表理事の堀永乃先生を講師に日本語ボランティア研修を実施。地域日本語教室の役割と機能や、日本語ボランティアを行ううえでの心構え、全国的な日本語ボランティアの現状などについて学んだ。



○取組事例②

【第7回 平成29年12月9日】

第1回、3～5回、7～8回の計6回は、地元在住で日本語教育について長年の経験と知識をもった関井朱美先生を講師に研修を実施した。日本語を学習する外国籍住民が感じる日本語の難しさや日本語教授法、文法などについて学んだ。



(2) 目標の達成状況・成果

31名、延べ104名が受講し、日本語指導のスキルを磨いた。受講者のほとんどは「地球人ネットワークinこまがね」の会員であったが、研修を通じて非会員の参加者が「地球人ネットワークinこまがね」とつながり、実際のボランティアとして活動するきっかけとなった。

(3) 今後の改善点について

受講者ごとにスキルに差があるため、レベルに応じた研修の開催を検討する。

＜取組5＞

取組5	取組の名称		日本語学習発表会									
	取組の目標		・地域住民との交流の中で母国及び自分自身をPRする。 ・地域住民への活動発信の場とし、日本語学習の必要性を地域住民に理解してもらう。 ・発表会を設けることで、受講者の語学力向上を図る。									
	取組の内容		・平成29年10月に開催される国際交流イベント「みなこいワールドフェスタ」において、学習内容・成果の発表を行なう。 ブースや屋台の出展、ステージ出演等、様々なチャンネルでの情報発信を試みる。 ・本取組に参加する外国籍住民とボランティアに、準備段階からの参加を呼びかける。 ・年度末にスピーチ発表会と交流会を開催する。 ・ボランティア以外の地域住民にも参加してもらい、交流を持ってもらう。									
	☐	空白地域を含む場合、空白地域での活動										
	取組による体制整備		・「地球人ネットワークinこまがね」、赤穂公民館、長野看護大学、JICA駒ヶ根等の本事業と連携する諸団体から参加者を募り、受講者の日本語習得の成果を確認する。 ・本事業の関係団体がまとまることで、それぞれの取組の成果と課題を共有し、更に連携していく体制構築の契機とする。									
	取組による日本語能力の向上		・日本人に向かって発信することを目的としているため、日本語力の向上が期待できる。 ・初対面の地域住民と接する機会となるので、日本人とコミュニケーションをとる練習になる。									
	参加対象者		本事業の全取組に関係した外国人、ボランティア、関係者					参加者数 (内 外国人数)		35人 (14人)		
	広報及び募集方法		・市のウェブサイト、市報、チラシ、広域情報誌への掲載。 ・「地球人ネットワークinこまがね」によるSNSとウェブサイトを通じた情報発信を行う。 ・各国コミュニティの顔役の人物を通じて情報を発信。 ・「みなこいワールドフェスタ実行委員会」主催・共催・後援団体が持つ広報媒体を通じた広報を依頼。									
	開催時間数		総時間 8時間(空白地域 時間)									
	主な連携・協働先		・「地球人ネットワークinこまがね」 ・赤穂公民館 ・長野看護大学 ・「みなこいワールドフェスタ実行委員会」主催・共催団体(駒ヶ根協力隊を育てる会、JICA駒ヶ根等)									
参加者の出身・国別内訳 (人数)		中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル			
		3	3			3		2	2			
		ペルー(1)										
実施内容												
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容			指導者名	補助者名		
1	平成29年10月29日 10:00～15:00	5	駒ヶ根市民活動支援センター	7	日本語学習発表会 ブースの出展	日本語スピーチ 日本語の歌の発表 地球人ネットワークinこまがねのブースを出展			藤井佳代	矢澤国明		
2	平成30年3月10日 (土) 10:00～13:00	3	ふれあいセンター	7	日本語学習発表会	日本語スピーチ 日本語の歌の発表 各国料理を持ち寄っての住民との交流			藤井佳代	矢澤国明		
3												
4												
5												
6												
7												
8												

(1) 特徴的な活動風景(2～3回分)

○取組事例①

【第1回 平成29年10月29日】

国際交流イベント「こまがね国際広場」に「地球人ネットワークinこまがね」のブースを出展し、また、同イベントのステージで学習者による日本語の歌や日本語でのスピーチを発表することで日本語教育の活動を周知した。



○取組事例②

【第2回 平成30年3月10日】

学習者やボランティアを集め、各曜日の取り組みの共有や代表者による日本語のスピーチを行った。市を通じてプレスリリースを行い、新聞社と地元のケーブルテレビ局が取材した。また、会員のネットワークを通じて、非会員の住民や外国籍住民も参加し、日本語教育に対する理解を促した。発表会終了後はポットラックパーティーを開催し、会員と非会員、地域住民と外国籍住民の交流を図った。



(2) 目標の達成状況・成果

違う曜日に通う学習者がお互いの成果を発表することで刺激になり、日本語学習に対するモチベーションが向上した。また、地域住民と外国籍住民または外国籍住民同士の交流の場となり、地域住民にとっては地域の外国籍住民の状況を知る機会となり、外国籍住民にとっては貴重な人脈形成、情報交換の場となった。マスコミを巻き込んだことで、地域住民に広く日本語教育の現状を周知することができた。イベントではその場で「地球人ネットワークinこまがね」に入会する来場者もあり、会員の拡大につながった。

(3) 今後の改善点について

更に参加者を増やし、地域住民と外国籍住民の相互理解を進め、お互いが安心して住むことができる多文化共生の地域社会を目指す。また、引き続き、様々なイベントに出展し、「地球人ネットワークinこまがね」の会員の拡大、組織の強化に努める

4. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

市及び市民団体が運営している日本語教室・講座が協働・連携して、日本語を母語としない外国籍住民に対する効果的な日本語教育事業を展開する。また、関係団体が連携する仕組みが出来つつある現状を、更に強化・発展できる取り組みを通じて、日本人と外国籍住民とが円滑な市民生活を創出するための多文化共生のまちづくりを目指す。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語教室を運営する「地球人ネットワークinこまがね」に通う学習者へのアンケートでは「上手になった」、「まあまあ上手になった」と全員が回答しており、学習の成果が表れている。また、生活情報講座を通じて日本の制度や、公民館での講座を通じて日本の文化を学習し、日本での生活に対する不安感を減らすことができた。日本語ボランティアへの研修を通じて、指導者の指導技術が向上し、日本語教育の質を上げることができた。また、同研修は、他地域の好事例の学習や講師との人脈の形成など、組織強化につながる場となった。学習発表会の場を持つことで、学習者のモチベーションの向上や地域住民の日本語教育に対する理解につながった。

(3) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域の関係者とともに取り組むことにより、日本語学習の場のみならず、日常生活においても交流が生まれ、外国籍住民の日本での暮らしに対する不安感が減った。また、学習の場は、生活上のちょっとした相談の場ともなっている。地域住民との交流があることで相互理解が促進され、多文化共生の意識が高まった。

(4) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

「地球人ネットワークinこまがね」の学習者やボランティアから会員登録時にメールアドレスを聞き取り、メールリストにより広報を行った。メールは「やさしい日本語」と英語で発信した。また、「地球人ネットワークinこまがね」のウェブサイトを立て上げ、フェイスブックのアカウントを取得し、広く広報した。市のウェブサイトにも「地球人ネットワークinこまがね」で行う日本語教育の日程や、ボランティア研修の日程を掲載し、閲覧者のボランティア参加にもつながった。発表会の開催は市からプレスリリースを行い、新聞や地元ケーブルテレビの番組に取り上げてもらうことで、今まで関心のなかった住民に対しても日本語教育の取り組みについて周知することができた。

(5) 改善点、今後の課題について

外国籍住民の増加に伴う学習者の増加により、教室のスペースやボランティアの数が不足するときがある。
自家用車を持たない外国籍住民の降雪時の移動手段がない。
N1やN2といった高い日本語レベルの学習の場がない。

(6) その他参考資料